

コン タ ク ト 先	会員機関名	東海大学		
	所在地	〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1		
	電話	0463-59-4364	FAX	-
	E-mail	<a href="mailto:sangi01@tokai.ac.jp">sangi01@tokai.ac.jp</a>	Webサイト(HP)	<a href="http://www.u-tokai.ac.jp/">http://www.u-tokai.ac.jp/</a>
業務範囲	知的財産権の管理 技術紹介	実施許諾契約 研究者紹介	秘密保持契約 産学連携コーディネート	研究成果有体物提供契約 スタートアップ支援 技術相談 インキュベーション
活動の特徴・ アピール点・ 技術移転事例等	<p>東海大学は学長室を中心に、組織的な産学連携を推進しています。企業や地域と連携し、大学の知の財産を産業界に提供していくことで、社会貢献を実現し続けることが重要だと考えています。本学の産学連携の基本姿勢は、企業を支援しながら、研究開発の成果を社会に還元・貢献することにあります。本学は「敷居が高い」といわれる大学を、身近な存在として活用していただけるよう公的機関・企業支援団体との協力関係を構築し、連携の拡大に努めております。</p> <p>「産学連携」におきましては、初対面の企業と研究者の連携がうまくいくかどうかは、それぞれをよく知り、それを仲介する存在が大変重要です。学長室（研究推進・産学連携担当）では、企業での研究開発やマネジメント等の豊富な経験を有するプロジェクトマネージャーが、その知見を活かしながら、支援機関とも連携しつつ、企業と研究者のマッチングを支援いたします。</p>			
扱う知財の 特徴・分野・件数 等	<p>本学は、7つのキャンパスで多様な教育研究活動を展開しており、多岐にわたるニーズに的確に対応できる土壌が整っています。全国に広がる研究拠点のメリットを活かし、地域によって異なるニーズにも柔軟に対応しています。例えば、湘南キャンパスの研究シーズに民間企業が興味を示して産学連携に至りました。その後、様々な研究機関や民間企業との交流を深め、AMEDの委託事業の採択を受けて研究開発を行い、様々な臓器の細胞を用いて簡便に生体の臓器を模倣したオンチップポンプ型多臓器MPSデバイスである「バイオステラ™ プレート」が実用化されています。</p> <p>その他、ナノテクノロジーやライフサイエンスといった幅広い領域で数々の連携が進行し、大手企業のみならず、中小企業との間で多くの成果を生み出しています。</p>			